

日本初の「プレーリーダー」天野 秀昭さんと考える

子どもの〈遊び環境〉の復興

— 冒険あそび場ネットの被災地域における遊び場づくりを受けて —



2016 12/14(水)

PM 19:00 ~ 21:00

エル・ソーラ仙台

大研修室 (仙台市青葉区中央 1-3-1 アエル 28 階)

参加申込み不要・参加費無料

主催：特定非営利活動法人
日本冒険遊び場づくり協会

共催：認定特定非営利活動法人
冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

※この講座は大東建託グループ「みらい基金」の支援により開催されます。

〈お問い合わせ〉 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク
【電話】022-264-0667
【メール】jimukyoku@bouken-asobiba-net.com

仙台市では東日本大震災被災者の仮設住宅からの転居が完了し「住まいの復興」は一応の決着を見ました。しかしながら復興公営住宅・集団移転先などでの子どもの〈遊び環境〉の復興は、いまだ道半ばと言えます。

子どもが自分の限界に挑戦し自らを育てるのは、心から「したい」を感じたときです。子どもが心から「したい」と感じる遊びには、このように限界に挑戦することで生まれる育ちの可能性が秘められています。

この講座では、子どもが自らを育てる「したい」遊びを思う存分展開できる場としての〈遊び環境〉の、仙台市における現状を確認するとともに、その復興の意義について、天野 秀昭さんと考えます。



特定非営利活動法人 日本冒険遊び場づくり協会
事務統括理事 天野 秀昭

官民協働の日本初の冒険遊び場「羽根木プレーパーク」で、職業プレーリーダー国内第1号として活動開始。プレーリーダー養成プログラムの開発・実施にも取り組む他、東日本大震災発生後は被災地域で遊び場づくりを通じた子どもの心のケアに尽力している。